

- 問1 静岡県周辺における高速道路の整備状況を示した資料において、新東名高速道路の開通前には年間227回発生していた「10km以上の渋滞」が、開通後には年間4回まで激減したという統計があります。このように劇的な渋滞緩和が実現した要因として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 1. 全ての大型貨物車両の通行が禁止されたため | 2. 高速道路の最高速度制限が大幅に引き上げられたため | 3. 並行する二つの路線に交通量が分散されたため | 4. ETCの導入により全ての料金所が撤廃されたため |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|
- 問2 日本の国内輸送の変遷を記した資料において、1960年代以降に鉄道のシェアが低下し、代わって自動車が輸送の主力となった背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 格安航空会社（LCC）の参入により、国内の旅客輸送の大部分を航空機が担うようになったため。 | 2. 環境負荷を抑えるため、トラックから鉄道や船舶へと輸送手段を転換するモーダルシフトが完了したため。 | 3. 高度経済成長期の資源輸入の増大に伴い、内航海運による国内貨物輸送が鉄道を上回ったため。 | 4. 道路網の整備が進み、自家用車やトラックが普及するモータリゼーションが進展したため。 |
|--|---|--|--|
- 問3 日本の輸出入において、輸送手段の選択理由（背景）を説明した文として、適切な仕組みを説明しているものを選んでください。
(2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 石油や液化ガスは引火しやすいため、安全性を考慮して滞在時間の短い航空輸送が世界の主流となっている。 | 2. 医薬品や科学光学機器は、非常に壊れやすいため、揺れの激しい航空輸送を避けて大型船による海上輸送が中心となっている。 | 3. 自動車は1台あたりの重量が重く、一度に大量の台数を運ぶ必要があるため、大型船を利用した海上輸送が経済的である。 | 4. 通信機や電子部品は、輸送中の塩害を避けるために、あえて輸送コストの高い海上輸送を避けて航空輸送を利用している。 |
|--|--|--|--|
- 問4 日本の山地や傾斜地のように平地が少ない地域において、斜面を切り開いて平坦な面を幾層にも重ね、稲作ができるようにした階段状の水田を何と呼びますか。
(2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 1. 棚田 | 2. 扇状地 | 3. 輪中 | 4. 干拓地 |
|-------|--------|-------|--------|
- 問5 昼夜間人口比率とは、ある地域の夜間人口（常住人口）100人あたりの昼間人口の割合を示す指標です。この比率が100を大きく上回っている地域について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれか選びなさい。
(2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. オフィス街や官公庁、学校などが集中しており、周辺地域から通勤・通学してくる人口が多いため。 | 2. 豊かな自然環境を活かした農業が盛んであり、地域住民のほとんどがその地域内で働いているため。 | 3. 大規模な工場が郊外に立地しており、夜間勤務の労働者が他の地域から多く移り住んでいるため。 | 4. 広大な住宅団地やマンション群が整備されており、夜間に帰宅して寝るための人口が多いため。 |
|--|--|---|--|
- 問6 食品ロスの削減に向けた消費者の意識を調査した統計において、約8割の人が「残さずに食べる」と回答しているほか、「家にある食品の在庫を確認してから買い物に行く」といった行動をとる人の割合も高い水準にあります。このような、現代の消費者が日常生活の中で行っている「食品ロス削減」のための具体的な取り組みとして、最も適切なものはどれですか。
(2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 食品の廃棄を避けるため、賞味期限や消費期限が設定されている食品の購入を一切控える。 | 2. 安売りされている食品を、食べきれなかうかに関わらず大量に買い溜めしておく。 | 3. 買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、必要な分だけを購入することで買いすぎを防ぐ。 | 4. 食品ロスへの無関心層が増加しているため、個人の取り組みよりも企業の責任のみを追及する。 |
|--|--|--|--|
- 問7 日本の地熱資源量は約2347万kWと推計されており、世界第3位の資源量を有していますが、その開発には大きな課題があります。多くの開発可能地域がどのような場所に位置しているため、開発の制限や調整に時間を要しているといえますか。
(2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--|--|
| 1. 送電網の整備が容易な、人口が密集する都市部やその周辺の平地。 | 2. 大規模な工業団地の造成が計画されている、臨海部の工業地域内。 | 3. 農業振興を最優先とするため、開発行為が厳しく制限されている農振地域内。 | 4. 景観保護や自然環境の保全を目的とした、国立公園や国定公園の指定区域内。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--|--|
- 問8 日本の関東地方から九州地方北部にかけて、太平洋や瀬戸内海に沿って帯状に連なる、日本の工業出荷額の多くを占める地域の呼称として正しいものはどれですか。
(2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. 中央構造線 | 2. 北関東工業地域 | 3. 太平洋ベルト | 4. 日本海側工業地帯 |
|----------|------------|-----------|-------------|
- 問9 日本の電気機器の輸入に関する統計において、1995年には輸入額の36.7パーセントを占めて最大だったアメリカ合衆国に代わり、2015年には47.1パーセントを占めて最大の輸入相手国となった国を次の中から選びなさい。
(2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| 1. マレーシア | 2. 中国 | 3. ベトナム | 4. 韓国 |
|----------|-------|---------|-------|
- 問10 1930年から2010年にかけて、0～14歳の人口割合が36.6%から13.2%へと激減した一方で、65歳以上の人口割合が上昇している日本の社会現象を何と言いますか。
(2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|--------|----------|
| 1. ドーナツ化現象 | 2. 情報化社会 | 3. 過疎化 | 4. 少子高齢化 |
|------------|----------|--------|----------|
- 問11 日本のエネルギー供給構成の変化について、2010年と2017年の統計を比較した記述として、正しいものはどれですか。なお、2010年は石油が40パーセント、天然ガスが18パーセント、原子力が11パーセントでしたが、2017年には天然ガスが23パーセント、再生可能エネルギーが9パーセントとなり、原子力の割合は大幅に低下しています。
(2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--|
| 1. 環境負荷の低減や震災の影響を受け、天然ガスや再生可能エネルギーの割合が高まった。 | 2. 石炭の供給割合が再び増加し、1955年当時の水準である約50パーセントまで回復した。 | 3. 石油の割合が激減し、2017年には天然ガスの供給量が石油を上回った。 | 4. 原子力発電が安定した供給源として定着し、2017年には供給全体の4分の1を占めた。 |
|---|---|---------------------------------------|--|
- 問12 自由貿易を推進し、関税が撤廃されたり引き下げられたりした際、輸出しやすくなるという利点がある一方で、輸入に関しては自国の産業にどのような影響を及ぼす可能性がありますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。
(2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 海外から安価な商品が大量に流入することで、価格競争にさらされた自国の産業が打撃を受ける。 | 2. 輸入品の価格が国内製品よりも大幅に上昇するため、国内の消費者が商品を購入できなくなる。 | 3. 政府が輸入品に対して高い税金を課すようになるため、国内産業の生産コストが増大する。 | 4. 関税の撤廃によって輸入手続きが複雑化し、海外製品の流通量が極端に減少する。 |
|---|--|--|--|